

沖縄国際大学に対する正会員資格判定結果

I 正会員資格判定結果

審査の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると判定し、正会員資格の継続を承認する。

正会員資格の有効期間は2020（平成32）年3月31日までとする。

II 総 評

貴大学は、沖縄返還前、私立大学である沖縄大学と国際大学が本土復帰を視野に入れ、日本の大学設置基準に合致するべく統合整備され、当時の琉球政府の認可を経て設置されたという歴史を内包しており、それは「真の自由と、自治の確立」という建学の精神にも反映されている。

この建学の精神に基づき、沖縄県唯一の法学部をはじめとする4学部10学科、3研究科5専攻に加え、「沖縄の伝統文化と自然を大切にし、人類の平和と共生を支える学術文化を創造する。そして豊かな心で個性に富む人間を育み、地域の自立と国際社会の発展に寄与する。」とする理念に基づき、沖縄の伝統文化と自然を研究対象とする南島文化研究所、地域との協働や連携を推進する産業総合研究所および沖縄経済環境研究所、沖縄固有の課題に取り組む沖縄法政研究所を有し、地域に根ざした高等教育機関としての地位を確立している。

また、これら建学の精神・理念は、大学案内等をとおして、教職員や学生に周知が図られ、さらにウェブサイトによって学外にも適切に周知されている。

建学の精神に基づき、理念を実現するため、共通科目と専門科目が有機的に連携した教育課程が編成されている。建学の精神・理念および教育目標を実現するため、「沖縄国際大学学則」第1条に「理性的教養と歴史の進展に深い洞察力を保持する人材」の育成を掲げ、具体的に、共通科目として貴大学独自の科目群が展開されている点の特筆すべきものがある。特に、沖縄関係科目群、「普天間基地」等のテーマ科目群は、学生はもとより、公開科目として地域住民の生涯学習にも深く寄与しているといえる。

なお、国際交流については、制度は整えられているが、国際大学としている貴大学にあっては、より活発に行われるための方策の充実が求められる。

教員組織については、大学設置基準上必要な専任教員数が現時点において1名不足しているが、現在公募中とのことであるため、今後の改善に期待したい。

また、学生の受け入れについては、入学定員に対する入学者数比率が法学部、総合

文化学部、経済学部において、1.25以上と高いため、改善が望まれる。

社会連携に関しては、公開講座の開催、図書館の開放、教室、体育施設、グラウンドの貸出などを行っている。また、研究所等の行う地域連携事業も盛んである。特に、地域の防犯意識の高揚と少年非行防止活動をとおした犯罪の未然防止に取り組むため、学生と地域社会との協力関係のもとに、警察官や少年補導職員とともに少年の非行防止活動、健全育成、学習支援や街頭補導活動などを行う「大学生少年サポーター」を設け、毎年沖縄県警察本部から多数の委嘱を受けている。これは、貴大学独自の取り組みとして評価できる。

以上のように、貴大学は、沖縄という立地の特色を活かした教育・研究を展開している。さらに、平和学習を通じた積極的な地域社会への貢献等、沖縄の過去、現在、そして未来を見据えた取り組みが行われているといえる。